

新地町歴史講座

古代の不思議を考える

—手長明神 エゾ穴の謎—

古代人は自分たちでは理解できなかった「不思議」をどのように解決したのでしょうか



講師プロフィール

菊地 逸夫（きくち いつお）
宮城県教育委員会で長年、発掘調査に携わった後、東北歴史博物館に勤務。
考古学の学芸員として、特別展の企画や土器作りなどの教育普及活動を担当。
退職後は尚絅学院大学など宮城県内の大学で、学芸員養成のための博物館学の非常勤講師を勤める。
現在も各地で土器作り等の活動を行っており、令和6年から新地町内3小学校の6年生を対象に土器作り教室を開催し、令和7年には一般参加の土器づくり教室を開催している。
宮城県白石市在住。



日本
海と日本
PROJECT
海ノ民話
のまち
プロジェクト

入場無料

令和7年度新地町歴史講座

会 場 新地町文化交流センター 多目的ホール

〒979-2709 新地町駅前1丁目3

日 時 令和8年2月28日（土）13:30 ~ 15:30（開場13:00）

演 題 古代の不思議を考える—手長明神 エゾ穴の謎—

古代人は自分たちでは理解できなかった「不思議」をどのように解決したのでしょうか

講 師 菊地 逸夫氏（尚絅学院大学非常勤講師）

皆さまのご来場をお待ちしております

主催 新地町教育委員会 / 新地町郷土史研究会